

総務委員会資料

所管事務の調査（報告）

川崎競輪開催業務等包括委託の導入について

資料 1 川崎競輪開催業務等包括委託の導入について
参考資料 委託料率の設定根拠について

経済労働局

平成28年6月10日



1 包括委託導入の背景

- (1)川崎競輪場は富士見公園の中央部に位置し、平成20年3月に策定した「富士見周辺地区整備基本計画」において「公園との調和に配慮した上で、既存バンクを活用し現位置でコンパクト化するとともに、できる限り多目的な活用ができることをめざします。」とされている。
- (2)川崎競輪場では「富士見周辺地区整備基本計画」に基づき「川崎競輪場再整備基本計画」を平成22年9月に策定し、再整備を行っている。
- (3)本市の平成26年度の総車券売上額は全国で13番目、収益額(一般会計繰出金と基金積立金の合額)は全国で8番目、入場者数は全国で7番目となっている。
- (4)売上の推移は平成24年度以降ほぼ横ばいであるが、再整備工事により施設環境が整い特別競輪の誘致が可能になるほか、都心にある立地条件など本市のポテンシャルを鑑みると、売り上げを向上させることが可能である。

2 包括委託導入の目的・基本的な考え方

●包括委託は競輪開催業務をはじめ日常業務の補助なども含めた多数の業務を一括して民間事業者に委託するもので、従来の臨時従事員の直接雇用は維持しつつ、民間ノウハウを活用して安定的な競輪事業の確立や本市財政へ貢献するため、次の基本的な考え方に基づき実施する。

- (1)競輪事業の確実な実施及び効率的な運営
 - ①公正・安全かつ円滑な業務運営
 - ②効率的な運営によるトータルコストの削減
- (2)市民に親しまれる競輪場づくり
 - ①ファンサービスの向上などを通じた来場者数・車券売り上げの増進
 - ②既存施設の有効活用による収入増
 - ③市民利用・多目的利用推進による市民に親しまれる競輪場の確立

3 期間

平成29年1月～平成34年3月31日

平成29年4月1日～平成34年3月31日(委託業務実施期間)
平成29年1月～平成29年3月31日(準備期間)

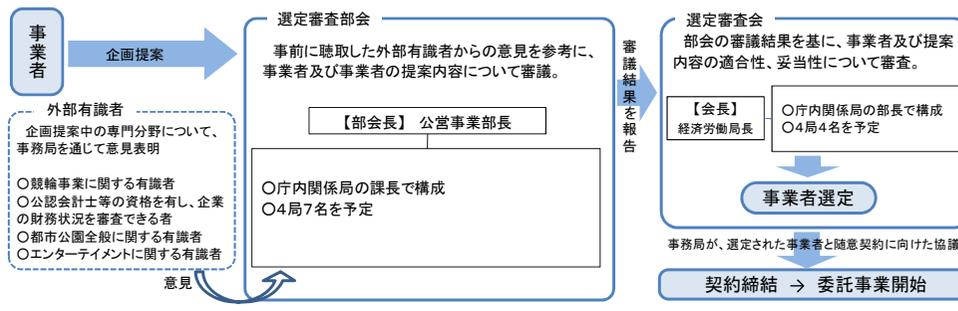
4 委託する業務について

- (1)開催業務(本場開催及び受託場外開催に直接関係する業務)
 - 競輪開催に係る運営統括及び車券発売・払戻等に関する業務
 - 映像・音楽・実況放送など、情報の場内外への提供に関する業務
 - ☆お客様サービス・イベント等の実施に関する業務
 - 場内・駐車場・周辺道路の警備及び清掃に関する業務
- (2)非開催業務(競輪開催のために必要な業務)
 - ☆広報・宣伝企画に関する業務
 - 本場・場外開催に係る他場及び関係機関との連絡・調整等に関する業務
 - 非開催時払戻業務
- (3)その他の日常業務(施設・設備の維持管理業務及び一般管理業務の補助など)
 - 施設・設備の維持管理に関する業務(緊急性を要する施設・設備の修繕に関する業務を含む)
 - 開催関係業務及び日常業務等の支援に関する業務
 - ☆既存施設の有効活用に関する業務
 - ☆市民利用・多目的利用の推進に関する業務

凡例
○ 競輪事業の確実な実施・運営
☆ 市民に親しまれる競輪場づくり

5 事業者の選定方法について

- 公募型プロポーザル方式を採用して幅広くアイデアを募る
- 公正で透明性の高い事業者選定スキーム



6 事業者選考にあたっての提案事項・評価項目

- (1)競輪事業の確実な実施及び効率的な運営
 - ①競輪事業全般に関する知見及び川崎競輪に関する理解度等
 - ②開催を円滑に実施できる運営体制
 - ③業務の効率化及び収益性の向上を目的とした提案
 - ④市内業者への優先発注
 - ⑤受託希望価格(委託料)
- (2)市民に親しまれる競輪場づくり
 - ①新たな来場者獲得に向けた宣伝・広告戦略
 - ②多様な来場者に訴求するエンターテインメント性の向上策
 - ③市民が身近に感じる競輪場づくりという視点、都市公園内の施設という立地特性を踏まえた競輪場施設等の活用策(施設の有効活用による収入増を含む)

7 委託料について

- 委託料は「定率制」を採用
 - ①川崎競輪場のポテンシャルを踏まえ、経費削減最優先の「定額制」ではなく、車券売上金額に対する率で委託料を計算する「定率制」を採用し、受託事業者の売上向上意欲を喚起する。
 - ②「率」は本場開催分と受託場外分の2種類とし、本場開催は「4.89%以内」、受託場外は、G I, G II, G III, F I の各グレードごとに上限を設定し、提案「率」が低い者に高評価を与える。
- ※上限は川崎競輪場の経費実績などを参考に設定

8 スケジュール

平成28年度												平成29年度
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
募集要項・説明資料作成		募集	質問受付	回答		コンパ	契約内容の詳細協議		基本協定締結	準備期間(業務引継)		
						選定審査会						年度契約締結
		議事報告	選定審査会組成		書類確認		外部有識者意見聴取	議事報告				業務開始



参考 1

本場開催

	単位＝百万円					
	H29	H30	H31	H32	H33	合計
① 本場開催車券売上金 (H27決算見込値にH24～26対前年比平均値を乗じて算出)	15,161	15,103	15,045	15,017	14,988	75,314
② 包括委託に移行予定の委託料等合計額(税込) (H27決算見込値から抽出し横置き)	736	736	736	736	736	3,680
③ 委託料の率(税込) ②/①	4.85%	4.87%	4.89%	4.90%	4.91%	4.89%

○委託予定期間を通じた平均値を算出すると4.89%となる。

※特別競輪等の開催は不確定のため包括委託では別契約とすることから、売上予測には見込んでいない。

※包括委託に移行予定経費(②の行)は平成27年度決算見込から抽出した数値を後年度横置きしており、メインスタンド稼働等に伴う増額分やバックスタンド休止に伴う減額分等の変動要素は見込んでいない。

参考 2

受託場外開催

	単位＝百万円			
□グレード別 (開催数, 日数)	G I (7, 30)	G II (2, 7)	G III (35, 134)	F I (20, 59)
① 場外車券売上額 (H27年度決算見込値)	1,307	286	4,091	1,009
② 包括委託に移行予定の委託料等合計額(税込) (H27決算見込値から抽出)	73	23	364	138
③ 委託料の率(税込) ②/①	5.59%	8.04%	8.90%	13.68%

○車券売上に対する委託経費の率(③の行)を見ると、グレード別にばらつきがあるため、グレードごとに上限を定める。

○上限は、G I = 5.59%, G II = 8.04%, G III = 8.90%, F I = 13.68%とする。

※受託場外開催については年度により開催日数が異なることから、H27年度の単年度実績を基に検討する。